

開講授業科目一覧

学期区分： \_\_\_\_\_ を採用

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻

分類 科目	授業科目名	シラバス ページ 数	配当 年次	期間 学期	時間数 (分) (時間)	単位数	必修・ 選択等	開講 方法	受講生数 (LS外の 学生)	授業方法 (形態)	担当教員		開講単位数 計	授業科目内容の概要	シラバス等 のページ	備 考 受講生数(うち、LS外の学生)
											名 前	分類				
法律基本科目 法律基本科目	公法系科目 (憲法・行政法)															
	民事系科目 (民法・商法・ 民事訴訟法)															
	刑事系科目 (刑法・刑事訴訟法)															
法律実務基礎科目 法律実務基礎科目	法曹倫理															
	民事訴訟実務の基礎															
	刑事訴訟実務の基礎															
	法情報調査 法文書作成 模擬裁判															
	ローヤリング クリニック エクスターンシップ															
隣基礎科目 隣基礎科目																
展開・先端科目 展開・先端科目																

- (注)
- 採用している学期区分(セメスター制・トリメスター制等)を明示してください。評価実施年度の5月1日現在で、当該年度開講科目のみ記入してください。また、隔年開講の授業科目が評価実施年度に開講されていない場合においても記入してください。
  - 配当年次が複数ある場合(例えば2、3年次配当)は、当該配当年次をすべて記入してください。「学期区分」の種類については、採用している学期の種類(セメスター制、トリメスター制等)を記入してください。
  - 開講方法については、「毎年、隔年」の種類で記入し、隔年開講に関しては、今年度開講していれば(○)、開講していなければ(×)を合わせて記入してください。「配当年次」については、配当年次が複数ある場合(例えば、2、3年次配当)は、当該配当年次をすべて記入してください。
  - 担当教員の分類については、別紙様式3の「専・他・実・み・兼任・兼任」により、記入してください。「学期」については、『前期』、『後期』等の区分を記入してください。
  - 「時間数(時間)」については、当該開講科目における総時間数(例：90分授業が15週行われる場合には、22.5時間となります。)を記入してください。ただし、試験時間については、含まないものとします。
  - 「必修・選択等」については、『必修』、『選択』、『選択必修』等の区分を記入してください。
  - 「開講方法」については、『毎年』、『隔年』の区分で記入してください。なお、隔年開講については、今年度開講していれば『隔年○』、開講していなければ『隔年×』と記入してください。
  - 「授業方法(形態)」については、『講義』、『演習』、『実験』、『実習』若しくは『実技』のいずれかを、これらを併用する場合にはすべてを記入してください。
  - 「担当教員」の「分類」については、別紙様式3の教員分類別内訳の「分類」の「記号」(専・他・実・専・実・み・兼任・兼任)により、記入してください。
  - 「授業科目内容の概要」については、開講する各授業科目についての講義等の内容を簡潔に記入してください。
  - 「シラバス等のページ」については、シラバス等の授業計画を記載した冊子中の該当ページを記入してください。
  - 「受講生数(うち、LS外の学生)」については、同一科目を複数クラス開講している場合には、それぞれ記入してください。(例：同一科目が2クラス開講されており、それぞれ50人(うち、LS外の学生は2人)と40人(うち、LS外の学生は0人)の場合には、『①50(2)、②40(0)』となります。)